

平成25年度 事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

目次

総括	1
実施事業の概要	1
事業の実施状況	
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	3
(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進	3
① 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進	3
ア. 赤い羽根共同募金	3
イ. 歳末たすけあい募金運動	3
② やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実	3
③ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実	4
(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進	4
① ボランティア養成の推進	4
ア. ボランティア体験プログラムの実施	4
イ. 各種ボランティア養成講座の実施	5
② 福祉共育講座の充実	5
ア. 出前福祉共育講座の実施	5
イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの推進	6
ウ. 福祉共育副読本・DVD作成事業の推進	6
2. 安心して暮らせる仕組みづくり	7
(1) 社会参画の促進	7
① 老人クラブ支援の充実	7
② 地区福祉まつり支援の充実	7
③ 男性高齢者調理講習会事業の充実	7
(2) 情報提供体制の充実	7
① 総合相談センター機能の強化	7
② 地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発進の充実	8
ア. 広報紙の発行	8
イ. ホームページの充実	8
ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実	8
(3) 組織体制の強化	9
① 会務の運営	9
② 苦情解決体制	12
(4) さまざまなニーズに応じたサービスの提供	12
① 介護保険事業の充実	12
ア. 訪問介護事業の運営	12
イ. 通所介護事業の運営	13
ウ. 居宅介護支援事業の運営	13
② 指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営	14
③ 福祉車両貸出サービス事業の推進	14

④ 車いす等福祉機器・機材の貸出事業の推進	14
⑤ 移送サービス事業の推進	14
⑥ 在宅介護者のつどいの推進	15
⑦ 福祉理美容出張費補助サービス事業の推進	15
⑧ ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進	15
⑨ 福祉機器・介護用品展示室の開設	15
⑩ 社会福祉資金貸付事業	15
⑪ 各種事業に対する共催・後援	15
3. 地域で支えあうまちづくり	17
(1) 共に支えあう地域づくり	17
① コミュニティーワークの推進	17
② 地区社会福祉協議会支援の充実	17
ア. 地区社協会長研修会の開催	17
イ. ブロック別地区社協会長会議の開催	17
③ ふれあい・いきいきサロン事業の推進	17
④ 安心・安全情報キット配付事業の推進	17
⑤ ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進	18
⑥ 自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・ 地域包括支援センター等関係機関等の連携・協働の推進	18
⑦ 福祉団体などとの連携・協働の推進	18
⑧ 各種行事助成・各種団体に対する補助	18
ア. 第7回宇都宮市民福祉の祭典	18
⑨ まちづくりセンター等市民活動機関との連携・協働の推進	18
⑩ ボランティアセンター機能の充実	18
ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実	18
イ. ボランティア団体への活動支援の推進	19
⑪ 災害ボランティア活動等の実施	20
⑫ ファミリーケアサービス事業の充実	20
(2) 市民の主体的な地域活動への支援	21
① 小地域福祉活動計画策定の促進	21
② 福祉協力員制度の推進	21
③ 社会福祉協議会会員制度の充実	23
④ ぎんなん基金事業の充実	24
⑤ 善意銀行事業の促進	24
ア. 金銭・物品の預託・払い出しの実施	24
⑥ 敬老会開催の支援	24
4. 指定管理施設等の管理・経営	25
(1) 指定管理施設の管理・経営	25
① 老人福祉センターの管理・経営（5施設）	25
② 地域活動支援センターの管理・経営（3施設）	28
③ 総合福祉センターの管理・経営（2施設）	30
④ 茂原健康交流センターの管理・経営	31

(2) 市からの受託事業の実施	32
① 障がい者生活支援センター事業の実施	32
② 地域包括支援センター事業の実施	32
ア. 地域包括支援センター御本丸	32
イ. 上河内地域包括支援センター	33
③ 日中一時支援事業の実施	33
④ 身体障がい者福祉バス事業の実施	34
⑤ 奉仕員養成講座の実施	34
⑥ 要約筆記者派遣事業の実施	35
⑦ 援護事業の実施	35
(3) 県社協からの受託事業の実施	35
① 権利擁護センター「あすてらす」事業の実施	35
② 地域権利擁護システム整備モデル事業の実施	35
③ 成年後見制度利用促進事業（栃の実基金補助事業）の実施	36
④ 生活福祉資金等貸付事業の実施	36

総 括

近年、我が国では少子高齢化社会へ向かう中、経済状況は依然として厳しく、地域においても近隣の方々との関わりが希薄化し、多種多様な生活・福祉課題が生じてきております。

そのような状況下ではありますが、本会では住民参加を主体とした地域福祉活動を推進する団体として、誰もが住み慣れた地域で自立した心豊かな生活が送れるよう、ともに支えあい助けあいながら安心して暮らし続けることができる地域社会の実現を目指し、様々な福祉事業や福祉活動、また東日本大震災の避難者支援活動等を実施しました。

実施事業の概要

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

地域社会の中で、誰もが手助け・見守り・声かけなどを自然に行えるよう、様々な啓発活動・交流活動を促進し、相互の理解を深めながら福祉のまちづくりの推進に取り組みました。

(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

誰もがやさしさや思いやり、お互いを尊重する気持ちをはぐくめるよう、出前福祉共育講座やボランティア養成講座などを開催し、福祉に関する人材の育成と福祉共育の推進に取り組みました。

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

誰もが心豊かに生きがいをもって自立した生活が送れるよう、仲間づくりや生きがいづくりなどの支援を行い、社会参画の機会の確保に取り組みました。

(2) 情報提供体制の充実

多様な福祉サービスの中から、適切なサービスが受けられるよう、福祉に関する情報発信や相談機能を強化し、情報提供体制の充実に取り組みました。

(3) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

住み慣れた地域や家庭で自立した心豊かな生活が送れるよう、様々なニーズに応じた福祉サービスの提供の充実に取り組みました。

また、介護保険法に基づき、介護保険事業者として、要介護者等の心身の状況にふさわしい介護サービスを提供するとともに、サービスの質の向上や改善を行い、適切な事業運営に努めました。

3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

地域における生活課題に柔軟に対応できるよう、多様なネットワーク機能を充実させ、地域住民が共に支え合う地域づくりの推進に取り組みました。

(2) 市民の主体的な地域活動への支援

誰もが地域福祉の担い手として、地域福祉活動を継続的に行えるよう、地域住民の自発的な活動への支援を充実させ、地域が一体となった地域福祉活動の推進に取り組みました。

4. 指定管理施設等の管理・経営

施設の設置目的や特性、業務内容、運営実態等を踏まえ、住民福祉の増進に努めるとともに、より効果的かつ効率的に施設の機能を発揮できる管理・経営に努めました。

また、宇都宮市及び栃木県社会福祉協議会からの受託事業について、事業の目的及び趣旨に基づき適正に実施しました。

事業の実施状況

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

①赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動を、多くの市民の参画により実施し、地域福祉事業や福祉施設へ配分金を交付し、市民協働の支えあい助けあい活動を推進した。

ア. 赤い羽根共同募金（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

・戸別募金	31,275,138円	(134,218戸)
・街頭募金	354,414円	(15団体)
・法人募金	1,714,242円	(210事業所)
・学校募金	2,156,619円	(165校)
・職域募金	446,907円	(127箇所)
・その他の募金	859,670円	(104件)

イ. 歳末たすけあい募金運動

○歳末たすけあい募金（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

・戸別募金	20,668,443円	(134,218戸)
・篤志募金	44,141円	(2件)

○歳末たすけあい運動配分事業

・施設歳末たすけあい事業	交付額	5,176,180円	(77施設)
・団体歳末たすけあい事業	交付額	654,500円	(11団体)
・地域歳末たすけあい事業	交付額	6,737,537円	(38地区)
・地域福祉活動事業	交付額	8,593,040円	(39地区)

②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実

やさしさをはぐくもう！補助犬スタディー（10周年記念事業）

すべての市民が「個人」として尊重され、市民・事業者・行政などが協働し、地域課題の解決に向け、より一層の取り組みを行い、やさしさをはぐくむ福祉のまちづくりの推進に寄与することを目的に、盲導犬・聴導犬・介助犬の3犬種によるデモンストレーションや補助犬ユーザーの方々との交流、および受入側となる施設の意見もお聞きし、多面的に補助犬について理解を深めた。また、参加者と補助犬たちがオリオン通りに出向いて、通行人や飲食店等へのチラシ配布などして、誰もが住みやすい福祉のまちづくりを考えることにより、障がいや施設のバリアフリーに理解を深めた。

・主 催	宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会
・開 催 日	平成26年3月23日（日）
・会 場	総合福祉センター・オリオン通り商店街
・協 力 団 体	宇都宮市自治会連合会・宇都宮市老人クラブ連合会・宇都宮市障害者福祉会連合会・宇都宮ボランティア協会・東武ステーションサービス株式会社・宇都宮市PTA連合会
・参加人数	83人

③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

第7回宇都宮市民福祉の祭典（宇都宮市民福祉の祭典実行委員会）

- ・主 催 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会（宇都宮市社会福祉協議会・宇都宮ボランティア協会・宇都宮市等 計10団体）
- ・開 催 日 平成25年11月23日（土）勤労感謝の日
- ・会 場 総合福祉センター・中央生涯学習センター・まちかど広場
オリオンスクエア・宇都宮市役所14階大会議室
- ・参加協力団体 90団体（前年比 -3団体）
- ・一般来場者 約10,000人（前年比 ±0人）
- ・内 容 表彰のほか、バザー、模擬店、障がい者の作品展示コーナー、福祉書道展・絵画展、ボランティア相談コーナー、アトラクション、介護相談、スタンプラリー、
チャリティマッサージ・メイク、いきいきサロンなど

※ バザー、模擬店などで得た収益金及び各参加団体等からの協力金9,223円を「ぎんなん基金」にご寄附いただいた。

（2）福祉に関する人材の育成と共育の推進

①ボランティア養成の推進

ア. ボランティア体験プログラムの実施

ボランティア活動へのきっかけづくりを目的に、宇都宮市まちづくりセンターと共催でボランティア体験プログラムを実施した。

（エコキャップ集計・運搬）

- ・期 日 平成25年4月20日（土）、5月18日（土）、6月15日（土）
7月20日（土）、8月17日（土）、9月21日（土）
10月19日（土）、11月16日（土）、12月21日（土）
平成26年1月18日（土）、2月22日（土）、3月15日（土）
全12回（前年比 ±0回）
- ・内 容 エコキャップ運搬活動を通し、ボランティア同士の交流を図った。
- ・参加者 延 109人（前年比 +20人）
- ・個 数 17,697,940個（前年比 +912,440個）
- ・キロ数 44,508kg（前年比 +4,549kg）
- ・ワクチン数 22,254人分（前年比 +2,058人分）

イ. 各種ボランティア養成講座の実施

講座名	内 容	開催日	開催回数	受講人数(延)	前年比
災害福祉救援 ボランティア養成講座	災害時における ボランティア養成 講座	平成 25 年 6/8, 6/15, 6/22, 6/29, 7/7	全 5 回	136 人	+67 人
月 1 ぼらんていあ Saturday	ボランティア活動 への興味・きっかけ づくりのための入門 講座	平成 25 年 7/20, 7/27, 8/3, 12/14 平成 26 年 3/15	全 5 回	114 人	+36 名
サマーボランティア スクール	高校生・大学生等を 対象にしたボラン ティアワークキャ ンプ	平成 25 年 8/23, 8/31~9/1, 9/7	全 3 回	78 人	+38 人
傾聴ボランティア養成 講座	高齢者に対するの 傾聴ボランティア 養成講座	平成 25 年 9/3, 9/10, 9/17, 9/24	全 4 回	75 人	-3 人
サンタクロース アカデミー in うつのみや	気軽に楽しみなが ら参加できるサン タクロースボラン ティアを養成	平成 25 年 12/1, 12/15, 12/22	全 3 回	132 人	
福祉共育サポーター 養成講座	出前福祉共育講座 を支援するサポー ターの養成講座	平成 26 年 2/6, 2/13, 2/20, 2/27	全 4 回	70 人	-11 人
災害ボランティア フォローアップ講座	災害ボランティア 登録者を対象に行 うフォローアップ 講座	平成 26 年 3 月 8 日	全 1 回	33 人	+4 人
コミュニティフレンド 養成講座	障がい者のコミュ ニティフレンド(街 の中の友だち)を養 成する講座	平成 26 年 3 月 17 日	全 1 回	11 人	-7 人

②福祉共育講座の充実

ア. 出前福祉共育講座の実施

- ・実施回数 延 121 回 (前年比 -24 回)
- (手話体験 37 回、アイマスク体験 30 回、点字体験 25 回、盲導犬育成講話 6 回、
車いす体験 19 回、ボランティア講話 2 回、その他 2 回)
- ・受講者 延 4,294 人 (前年比 -864 人)

イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの推進

福祉共育やボランティア活動の推進を図ることを目的に開催した。

○オモイツタエル3. 11～ともしびプロジェクト in うつのみや～

- ・開催日 平成26年3月11日(火)
- ・共催 宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会、
ともしびプロジェクト宇都宮支部、宇都宮大学学生ボランティア支援室、
宇都宮大学地域連携教育研究センター
- ・連携協力 日光市社会福祉協議会、さくら市社会福祉協議会

《第1部》

開催時間 午後1時30分～午後4時30分

開催場所 宇都宮市総合福祉センター

参加者 64名

《第2部》

開催時間 午後6時00分～午後7時30分

開催場所 オリオンスクエア

参加者 200名

ウ. 福祉共育副読本・DVD作成事業の推進

障がい当事者団体の協力を得ながら、学校や地域で活用できる「教育副読本」、障がいの理解と啓発のための「DVD」作成に取り組んだ。

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

① 老人クラブ支援の充実

各地域において介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブ及び地区連絡協議会を支援するとともに、市老人クラブ連合会組織の充実強化と事業の支援を行った。

○クラブ数 341クラブ

○会員数 19,588人

- ・老人クラブ社会奉仕の日(年3回) 延13,200人
- ・老人クラブのつどい式典 約350人
- ・軽スポーツ大会(グラウンドゴルフ、ペタンク、輪投げ) 約690人
- ・ねんりんピック栃木2014運営準備への参画

② 地区福祉まつり支援の充実

地区社会福祉協議会が地域の関係機関等と協働して開催した地区福祉まつりの開催費用の一部を助成した。

(助成総額 150,000円)

- ・陽南地区
- ・河内地区
- ・清原地区

③ 男性高齢者調理講習会事業の充実

おおむね65歳以上の男性を対象に、自立した心豊かな生活がおくれるよう調理法を学ぶとともに、同世代の方々の仲間づくりや交流を図るために、地区社会福祉協議会が開催した調理講習会の開催費用の一部を助成した。

(助成総額 243,080円)

・西地区	2回開催	参加者	延 27人	
・昭和地区	11回開催	参加者	延176人	
・城山地区	2回開催	参加者	延 23人	
・宮の原地区	5回開催	参加者	延 52人	
・瑞穂野地区	1回開催	参加者	18人	
・国本地区	1回開催	参加者	21人	
・豊郷地区	5回開催	参加者	延 85人	
・篠井地区	1回開催	参加者	9人	
・河内地区	2回開催	参加者	延 32人	
		合計	延443人	(前年比 -29人)

(2) 情報提供体制の充実

① 総合相談センター機能の強化

地域住民の抱える生活・福祉問題等のさまざまな心配ごと、悩みごとの相談に応じられるよう「総合相談センター」を開設した。

(総事業費 3,961,043円)

○相談内容

種 別	件 数	種 別	件 数
生計問題	32件	財産問題	39件
年金問題	2件	交通事故問題	14件
職業・生業問題	5件	児童福祉・母子保健問題	1件
住宅問題	37件	教育・青少年問題	1件
家族問題	80件	心身障がい者福祉問題	7件
結婚問題	1件	一人親福祉問題	4件
離婚問題	26件	高齢者福祉問題	13件
健康・衛生問題	2件	苦情問題	23件
医療問題	8件	その他	323件
精神衛生問題	15件	合 計	635件
人権・法律問題	2件	(前年比 -356件)	

※ 開設回数 延 360回 (うち 特別相談日 46回、巡回相談日 70回)

- ・生活福祉相談 月～金曜日
- ・巡回相談 毎月各1回
第1木曜日：ことぶき会館、第2木曜日：ふれあい荘
第3木曜日：やすらぎ荘、第4木曜日：すこやか荘
第1火曜日：河内総合福祉センター
第2火曜日：上河内老人福祉センター
- ・特別相談 毎月各1回
第3火曜日：法律相談、第3水曜日：心身障がい者相談
第3木曜日：更生相談、第3金曜日：精神保健福祉相談

②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

ア. 広報紙の発行

定期的に福祉情報等の提供を行い、市民に社会福祉協議会の活動内容の理解を深めてもらうために、広報紙「うつのみや社協だより」を発行した。

- ・第148号 平成25年 4月20日発行 21,000部
- ・第149号 平成25年 7月 1日発行 21,000部
- ・第150号 平成25年10月 1日発行 21,000部
- ・第151号 平成26年 2月 1日発行 21,000部

イ. ホームページの充実

福祉に関する情報、社協の概要など、より見やすく使いやすく提供できるように努めた。

ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実

老人福祉センター（5施設）、地域活動支援センター（3施設）、総合福祉センター（2施設）、茂原健康交流センター（1施設）を地域の福祉拠点として、福祉情報の提供及び地域福祉事業等の推進を図った。

- ・総合相談センターの巡回相談の開設
- ・各種地域福祉講座・講習会等の福祉情報の提供
- ・車いす等の福祉機器の貸出

(3) 組織体制の強化

①会務の運営

【理事会の開催】

○平成25年5月21日（火）

（議 事）

- ・評議員の委嘱について
- ・宇都宮市障害者生活支援センター運営規程の廃止について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について
- ・平成24年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・平成24年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

○平成25年10月30日（水）

（議 事）

- ・評議員の委嘱について
- ・宇都宮市社会福祉協議会経理規程の改正について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について

○平成26年3月20日（木）

（議 事）

- ・宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会事務・専決規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会公印管理規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会法人後見事業実施規程の制定について
- ・宇都宮市社会福祉協議会権利擁護・成年後見センター設置規程の制定について
- ・宇都宮市社会福祉協議会役員等の費用弁償に関する規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会指定訪問介護事業運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会指定介護予防訪問介護事業運営規程の一部改正について
- ・指定障害福祉サービス居宅介護事業所宇都宮市社会福祉協議会運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会地域包括支援センター御本丸介護予防支援事業運営規程の

- 一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会上河内地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会社会福祉資金貸付規程の一部改正について
- ・評議員の委嘱について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算について
- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

【監事会の開催】

○平成25年5月14日（火）

（監査）

- ・平成24年度事業執行及び会計処理について

【評議員会の開催】

○平成25年5月28日（火）

（議事）

- ・宇都宮市障害者生活支援センター運営規程の廃止について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について
- ・平成24年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・平成24年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

○平成25年11月14日（木）

（議事）

- ・理事の選任について
- ・宇都宮市社会福祉協議会経理規程の改正について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について

○平成26年3月27日（木）

（議事）

- ・宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会事務・専決規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会公印管理規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会法人後見事業実施規程の制定について
- ・宇都宮市社会福祉協議会権利擁護・成年後見センター設置規程の制定について
- ・宇都宮市社会福祉協議会役員等の費用弁償に関する規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会指定訪問介護事業運営規程の一部改正について

- ・宇都宮市社会福祉協議会指定介護予防訪問介護事業運営規程の一部改正について
- ・指定障害福祉サービス居宅介護事業所宇都宮市社会福祉協議会運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会地域包括支援センター御本丸介護予防支援事業運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会上河内地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会社会福祉資金貸付規程の一部改正について
- ・役員を選任について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算について
- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成26年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

【ぎんなん基金運営委員会の開催】

○平成26年3月4日（火）

（報告事項）

- ・平成25年度ぎんなん基金活用状況、寄附及び積立金の運用状況について

（協議事項）

- ・平成26年度ぎんなん基金活用計画（案）について
- ・ぎんなん基金の課題について
- ・ぎんなん基金の今後の取り組みについて

【事業経営委員会の開催】

○平成26年3月4日（火）

（報告事項）

- ・平成25年度指定管理施設及び介護保険事業等の経営状況について

（協議事項）

- ・指定管理施設及び介護保険事業等の課題と平成26年度の取り組み（案）について

【地域福祉事業運営委員会の開催】

○平成26年2月26日（水）

（報告事項）

- ・第3次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
- ・平成25年度主要な地域福祉・ボランティア事業報告について

（協議事項）

- ・平成26年度主要な地域福祉・ボランティア事業計画（案）について

【歳末たすけあい事業見直し検討委員会の開催】

○平成25年9月3日（火）

（報告事項）

- ・平成24年度歳末たすけあい運動募金実績について

- ・平成24年度歳末たすけあい運動配分実績について
(協議事項)
- ・平成25年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項(案)について

②苦情解決体制

福祉サービス等についての苦情に対し、各部署・施設等に苦情受付窓口を設けるとともに、第三者委員を設置し、社会性や客観性の確保を図りながら、円滑で円満に問題を解決するための体制を整え適切に対応した。

【第三者委員会の開催】

○平成25年6月12日(水)

(報告事項)

- ・宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決システムの概要について
- ・平成24年度苦情の状況について

苦情件数 32件 (前年比 - 2件)

(4) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

①介護保険事業の充実

ア. 訪問介護事業の運営 (総事業費 29,714,455)

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳(延人数) (単位:人)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
計	1,475	1,108	961	1,435	313	5,292

(前年比 -405人)

・サービス種別利用状況内訳(延回数) (単位:回)

区分	生活援助	身体・生活	身体介護	合計
計	2,726	1,284	1,282	5,292

(前年比 -405回)

○介護予防訪問介護事業

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳(延人数) (単位:人)

区分	要支援1	要支援2	合計
計	96	310	406

(前年比 +13人)

・サービス種別利用状況内訳（延回数） (単位:回)

区 分	予防Ⅰ	予防Ⅱ	予防Ⅲ	合 計
計	162	203	41	406

(前年比 +13回)

・予防Ⅰ：週1回程度 予防Ⅱ：週2回程度 予防Ⅲ：週3回程度

イ. 通所介護事業の運営 【河内事業所で実施】 (総事業費 24,981,320円)

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数） (単位:人)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
計	459	589	499	134	0	1,681

(前年比 -60人)

○介護予防通所介護事業【河内事業所で実施】

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数） (単位:人)

区 分	要支援1	要支援2	合 計
計	0	603	603

(前年比 -283人)

ウ. 居宅介護支援事業の運営 (総事業費 9,071,035円)

要介護者が、居宅において自立した生活を営むために必要な居宅サービス等を適切に受けられるよう、居宅サービス計画や相談援助を実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数） (単位:人)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
計	123	347	289	278	189	230	27	1,483

(前年比 -119人)

エ. 障がい福祉サービスの運営 (総事業費 2,509,897円)

居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、障がい福祉サービス（居宅介護・生活介護）を実施した。

・居宅介護（ホームヘルプサービス）利用者延人数

区 分	利用者数（人）
計	224

（前年比 -12人）

・生活介護（デイサービス）利用者延人数

区 分	人 数（人）
計	310

（前年比 -81人）

②指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営

障がい児・者のサービス等利用計画・障害児利用支援計画について計画作成およびモニタリングや相談支援を実施した。

・利用者内訳（延人数） (単位：件)

区 分	計画作成	モニタリング
指定特定相談支援	2	4
指定障害児相談支援	2	0
計	4	4

③福祉車両貸出サービス事業の推進

身体機能の低下や障がいなどにより公共交通機関の利用が困難な方に、通院や各種行事等への参加のために車いすのまま乗降できる福祉車両を貸し出した。

・貸出件数 延 118件 (前年比 -22件)

④車いす等貸出サービス事業の推進

一時的に車いす等が必要となった方などへ、市内10か所において原則3ヵ月を限度に貸し出した。

・貸出件数 延 416件（車いす、松葉杖等） (前年比 ±0件)

⑤移送サービス事業の推進

身体障がい者及び高齢者等で公共交通機関の利用が困難な方の便宜を図るため、医療機関・公共施設等への移送サービスを実施することにより、自立生活の支援を図った。

(総事業費 1,127,097円)

○利用内容 (前年比 -3人)

登録者数	利用回数（延）	稼働日数	利用時間（延）	総走行距離
37人	332回	178日	562時間	9,127km

⑥在宅介護者のつどいの推進

当事者団体の支援を年間を通して行った。

⑦福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

理美容店に出向くことが困難な65歳以上の在宅の寝たきり高齢者に対して、散髪を行った際の出張費の補助を行った。

(総事業費 374,480円)

- ・申請者 111人
- ・利用件数 (補助券) 240枚 (前年比 -78枚)

⑧ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進

おおむね70歳以上の近隣に近親者のいないひとり暮らし高齢者の家庭に、乳酸飲料を配達、手渡しすることにより、安否の確認と孤独感の解消を図った。

(総事業費 3,919,457円)

- ・利用者 延 5,213人 (月平均 434人)
- ・配達本数 延 61,859本 (前年比 -2,183本)
- ・状況確認 71件 (配達時に不在のため詳細を確認)
- ・緊急対応 0件

⑨福祉機器・介護用品展示室の開設

寝たきり高齢者等の介護者に、介護を容易にするための福祉機器及び介護用品等の情報を提供するため、福祉機器・介護用品展示室を開設した。

- ・利用者数 延 106人 (前年比 -71人)

⑩社会福祉資金貸付事業

一時的に生活費に困窮した低所得者世帯に対し、50,000円を限度に資金の貸付を行った。

- ・貸付件数 0件 (前年比 ±0件)
- ・償還件数 1件 (前年比 -2件)
- ・累積貸付件数 20件 (前年比 -8件)

⑪各種事業に対する共催・後援

事業内容	団体名	区分
ポップサーカス宇都宮公演	㈱下野新聞社	後援
第17回日本列島縦断講演 「ニト・ひきこもりから自立へ、今年こそチャンス！」	NPO法人ニュースタート事務局	〃
第110～115回 チャリティトチギアートオークション	㈲匠堂宇都宮栃木美術倶楽部	〃
劇団カップ座宇都宮公演「ねこときんぎょ」	宇都宮カップ友の会	〃
五家英子車椅子寄贈500台達成チャリティ	五家英子車椅子寄贈500台達成チャリティ 実行委員会	〃

第32回栃木県障害者卓球選手権大会	栃木県障害者卓球連盟	後援
第6回宇都宮市老人クラブのつどい	おおいちょう宇都宮 宇都宮市老人クラブ連合会	〃
障がいのある子どもと家族を支援する チャリティー・ジャズコンサート	宇都宮共和大学・宇都宮短期大学	〃
第16回星の家まつり	認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会 第16回星の家まつり実行委員会	〃
第48回日本盲人会連合 関東ブロック協議会栃木大会	(社福)日本盲人会連合関東ブロック協議会 (一社)栃木県視覚障害者福祉協会	〃
とちぎ防災フォーラム	被災地障がい児者支援とちぎ	〃
2013年夏季炊き出し	2013年夏季炊き出し実行委員会	〃
第14回シミセイさわやか介護セミナー	(株)下野新聞社	〃
優しさを育む福祉のまちづくり〜〜とは?	宇都宮ボランティア協会	〃
第20回岡本台病院ふれあいまつり	第20回岡本台病院ふれあいまつり 実行委員会	〃
障害のある人とない人の スポーツレクリエーション活動事業	栃木県レクリエーション協会	〃
まちづくり団体の祭典「まちびあまつり 2013」	宇都宮市まちづくりセンター “まちびあ”	〃
「チャリティーウォーク56.7」	特定非営利活動法人 とちぎボランティアネットワーク	〃
ノーマライゼーションフェスティバル2013 ～災害時に生命を守る～	社会福祉法人 宇都宮市障害者福祉会連合会	〃
第21回「歳末たすけあい民謡民舞大会」	宇都宮民謡民舞連合会	〃
2013年冬季炊き出し	2013年冬季炊き出し実行委員会	〃
平成25年度福祉レクリエーション研修会	栃木県レクリエーション協会	〃
2014年 第3回栃木県乗馬大会	特定非営利活動法人 障害者のための馬事普及協会	〃
盲導犬ふれあいデー2014	公益財団法人 東日本盲導犬協会	〃
第9回とちぎYMCAチャリティーラン	公益財団法人とちぎYMCA	〃
2014年スペシャルオリンピックス日本・栃木 第5回栃木地区大会	NPO法人スペシャルオリンピックス日本・栃木	〃

3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

①コミュニティワークの推進

・コミュニティワーカー（地区担当スタッフ）を中心に、地域の生活・福祉課題の把握、またその課題の解決方法、さらに社会資源の点検や新たな社会資源の開発等を、関係機関・団体等と連携・協働で行える体制づくりに努めた。

・地域住民が主体的に地域福祉事業（活動）に参画できるよう、支援を強化した。

②地区社会福祉協議会支援の充実

ア. 地区社協会長研修会の開催

- ・期 日 平成25年11月7日（木）～8日（金）
- ・視 察 地 立川市社会福祉協議会
- ・視察研修内容
 - ・地域課題に対する住民福祉活動の仕組みづくりについて
 - ・地域における総合的相談支援体制について

イ. ブロック別地区社協会長会議の開催

（議題）

- ・「ブロック別福祉協力員研修会」について
- ・「福祉協力員連絡会」について
- ・「第3次宇都宮市地域福祉活動計画」について
- ・「安心・安全情報キット配付事業」について
- ・「地区社協会長研修会」について

【西部ブロック】	平成25年7月31日（水）
【北部・上河内・河内ブロック】	平成25年8月2日（金）
【中央ブロック】	平成25年8月6日（火）
【東部ブロック】	平成25年8月7日（水）
【南部ブロック】	平成25年8月9日（金）

③ふれあい・いきいきサロン事業の推進

ひとり暮らし高齢者などの居場所を確保し、地域ぐるみで見守り・支援を行う「ふれあい・いきいきサロン」の設置を促進した。

（助成総額 1,900,000円）

- ・30地区 85か所

④安心・安全情報キット配付事業の推進

在宅の高齢者及び障がい者等に対し、緊急時における救急隊などの支援者への速やかな対応と、日常における地域での見守り活動を促進するため、かかりつけ医や持病、緊急連絡先などを確認できる「安心・安全情報キット」を配付した。

- ・19地区 4,133本（累計29地区 延11,536本）

⑤ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進

ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業を実施した地区社会福祉協議会に対し、事業費の一部を助成した。

ア. 39地区社協（全地区）へ助成（助成総額 8,690,800円）

イ. ふれあい会食事業に携わる地区の方々を対象に、食への安全・安心を図るため「調理ボランティア講習会」を開催し、保健所による食中毒・食品衛生指導を受け、地区社協の事例をもとに会食事業を実施するうえでの工夫等を学んだ。

開催日 平成25年6月14日（金）

参加者 94人（前年比 -20人）

⑥自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関等の連携・協働の推進

市社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会が取り組む福祉協力員活動やひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業などにおいて、自治会、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センターなどの関係機関との連携・協働を進めた。

⑦福祉団体などとの連携・協働の推進

ボランティアセンターが取り組む「出前福祉共育講座」「ボランティア養成講座」や、地域で取り組む各種イベントにおいて、障害者福祉会連合会や老人クラブ連合会などの福祉団体と連携・協働を進めた。

⑧各種行事助成・各種団体に対する補助

ア. 第7回宇都宮市民福祉の祭典（宇都宮市民福祉の祭典実行委員会）

助成額 250,000円

⑨まちづくりセンター等市民活動機関との連携・協働の推進

市社会福祉協議会や地区社会福祉協議会が取り組むボランティア事業等において、まちづくりセンターなどの関係機関・団体との連携・協働体制を推進した。

⑩ボランティアセンター機能の充実

市民のボランティアに関する理解を深め、関心を高めるとともに、近隣の住民同士が助け合うことを基本としたボランティア活動の推進を図るため、ボランティアセンターの運営を行った。

（総事業費 11,630,154円）

ア. ボランティア相談・登録・調整の充実

ボランティアの発掘及び育成支援を目的に、ボランティア相談並びにマッチング（調整）に努めた。

・各種相談・問合せ 10,184件（前年比 +718件）

・ボランティア活動調整件数 589件（前年比 +25件）

- ・ボランティア登録数（団体） 173団体 7,498人（前年比 +9団体 -294人）
（個人） 106人（前年比 -11人）

イ. ボランティア団体への活動支援の推進

○宇都宮ボランティア協会への助成

宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。

○中間支援組織との連携強化

宇都宮市まちづくりセンター等の中間支援組織との情報共有及び連携を強化した。

○ボランティア活動用機材の貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、市内3か所（本所及び支所）の窓口において、活動に必要な機材の貸出しを行い、活動を支援した。

- ・貸出件数 延 143件（前年比 +17件）
（液晶プロジェクター、テレビデオ、スクリーン等）

○ボランティアルームの貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出しを行い、活動を支援した。

- ・貸出件数 延 186団体 1,612人（前年比 -53団体、-217名）

○ボランティアロッカーの貸出

登録しているボランティア団体を対象に、ロッカーの貸出しを行い、活動を支援した。

- ・貸出団体数 36団体（前年比 ±0団体）

○ひとり暮らし高齢者友愛訪問の実施

- ・訪問者数 50人（前年比 ±0人）
- ・活動内容 話し相手、清掃など

○対面朗読サービスの実施（ボランティア活動実践事業）

視覚障がいのある方等に対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面にて読み上げる朗読サービスを、音訳ボランティアの協力により実施した。

- ・実施回数 16回（前年比 -27回）
（利用者の希望により調整）
- ・利用者数 延 13人（前年比 +1人）
- ・協力ボランティア数 延 30人（前年比 -53人）

○出前福祉共育講座連絡会

出前福祉共育講座に協力いただいている講師等との交流会を開催し、講座プログラムの開発を検討した。

- ・開催日 平成25年11月29日（金）
- ・参加者 11人（視覚障がい者・身体障がい者講師・アシスタント）（前年比 +6人）
- ・内容 「出前福祉共育講座」プログラムの検討

⑪災害ボランティア活動等の実施

○東日本大震災避難者支援活動

東日本大震災の避難者支援事業を行った。活動資金については以下の助成金を活用した。

- ・栃木県社会福祉協議会『栃の実基金災害支援活動助成事業』
- ・栃木県共同募金会『日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクト』

（総事業費 500,000円）

日時	内容	参加人数
平成25年8月23日（金）、 31日（土）～9月1日（日）、 9月7日（土）	・ボランティアワークキャンプ（再掲） 市内の高校生（避難者含む）を対象に被災地でのボランティア、仮設住宅との交流等	78名
平成25年12月1日（日）、 15日（日）、22日（日）	・サンタクロースアカデミー（再掲） サンタクロースボランティアを養成。避難者の家族への訪問等	132名

○宇都宮市総合防災訓練

災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、総合防災訓練に参加し設置運営訓練を行った。

平成25年8月24日（土） 宇都宮市立清原中学校 24名

（職員、宇都宮ボランティア協会、災害ボランティア養成講座修了生）

⑫ファミリーケアサービス事業の充実

日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者や障がい者等の世帯（利用会員）に対し、協力会員が有償で家事援助などのサービスを提供した。

（総事業費 4,573,373円）

- ・利用会員 71人（前年比 -4人）
- ・協力会員 30人（前年比 -3人）
- ・利用件数 3,077件（前年比 -401件）
- ・利用時間 4,527時間（前年比 -898時間）
- ・サービス内容 掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添い等

(2) 市民の主体的な地域活動への支援

①小地域福祉活動計画策定の促進

コミュニティワーカー（地区担当スタッフ）が小地域福祉活動計画を策定している先進社協の視察研修を実施し、小地域活動計画に関する理解を深めた。

②福祉協力員制度の推進

小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会への支援及び活動費の助成を行った。

(助成総額 4,103,000 円)

○地区別 福祉協力員数

地 区	協力員数	地 区	協力員数
中 央	41人	陽 南	58人
東	55人	緑 が 丘	67人
西	48人	陽 光	52人
築 瀬	12人	宮 の 原	39人
西 原	49人	横 川	112人
昭 和	53人	瑞 穂 野	37人
錦	33人	雀 宮	99人
城 東	35人	五代若松原	40人
今 泉	42人	戸 祭	72人
泉 が 丘	55人	御 幸	39人
峰	53人	御幸ヶ原	42人
平 石	14人	細 谷	62人
石 井	129人	篠 井	10人
陽 東	47人	富 屋	17人
清 原	96人	国 本	59人
桜	45人	豊 郷	141人
宝 木	71人	上 河 内	43人
富 士 見	71人	河 内	164人
明 保	29人	合 計	2,353人 (前年比 +10人)
城 山	50人		
姿 川	172人		

○福祉協力員表彰式並びに委嘱状交付式の開催

長年に渡り活動を続けてこられた福祉協力員に対し、市社会福祉協議会会長より表彰を行い、その功績を讃えた。また、市内全39地区の福祉協力員の任期を統一したことに伴い、全地区の福祉協力員を対象とした委嘱状交付式を開催した。

- ・開催日 平成25年5月30日(木)
- ・場所 宇都宮市文化会館 大ホール
- ・内容 表彰式、委嘱状交付式
記念講演「これからの地域づくり／福祉協力員に期待すること」
講師 佐野短期大学教授 山田昇氏
- ・出席者数 表彰式298名／委嘱状交付式940名

○福祉協力員地域ブロック別研修会の開催

福祉協力員活動の推進と充実を図ることを目的に、ブロックごとに福祉協力員研修会を開催した。

【共通テーマ】

- 内容 講演「福祉協力員の立場で考える、新たな地域づくりのシステム」
～ひとりの不幸も見逃さない地域包括ケアシステムとは～
- 講師 上三川町社協上三川町地域包括支援センター係長 高田美保氏
- 事例発表 各ブロック代表福祉協力員連絡会

・中央ブロック研修会

- 開催日 平成26年1月15日(水)
- 参加者 76人

・南部ブロック研修会

- 開催日 平成26年1月19日(日)
- 参加者 198人

・北部・上河内・河内ブロック研修会

- 開催日 平成26年1月24日(金)
- 参加者 170人

・西部ブロック研修会

- 開催日 平成26年1月31日(金)
- 参加者 207人

・東部ブロック研修会

- 開催日 平成26年2月14日(金)
- 参加者 182人

③社会福祉協議会会員制度の充実

社協会員の拡大を図り、地域福祉事業を推進するための自主財源（会員会費）の確保に努めた。

地 区	合 計		地 区	合 計			
	会 員 数	会 費(円)		会 員 数	会 費(円)		
中央ブロック	中 央	1,628	552,800	南部ブロック	陽 南	2,879	863,850
	東	1,680	519,100		緑が丘	2,555	788,700
	西	1,911	583,800		陽 光	1,161	348,550
	築 瀬	1,782	534,600		宮の原	1,593	478,000
	西 原	1,282	436,400		横 川	5,164	1,659,601
	昭 和	1,734	520,200		瑞穂野	2,110	633,390
	錦	1,499	457,300		雀 宮	9,455	2,145,000
東部ブロック	城 東	1,847	498,690	五代若松原	1,645	493,500	
	今 泉	1,089	326,800	北部ブロック	戸 祭	3,365	1,046,950
	泉が丘	2,001	604,600		御 幸	1,514	454,450
	峰	2,083	625,000		御幸ヶ原	2,192	659,800
	平 石	912	273,700		細 谷	3,442	1,048,460
	石 井	2,970	873,120		篠 井	605	187,000
	陽 東	1,836	564,824		富 屋	921	277,800
清 原	5,982	2,221,100	国 本		3,370	1,020,100	
西部ブロック	桜	1,628	550,280	豊 郷	8,648	2,594,400	
	宝 木	3,737	1,142,400	上河内	2,242	672,800	
	富士見	3,327	1,018,100	河 内	7,117	2,162,750	
	明 保	1,357	407,200	事務局	428	3,320,000	
	城 山	3,484	1,050,100	合 計	110,749	36,587,635	
	姿 川	6,574	1,972,420				

区分		年度				
		平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度
合 計	会員数	110,749	112,252	109,834	114,003	110,264
	会費(円)	36,587,635	37,289,661	37,462,438	37,816,661	37,689,408
会費前年度比 (%)		-1.9	-0.4	-0.9	+0.3	-1.1

※過去5年間における会費の状況は、次のとおりである。

④ぎんなん基金事業の充実

ぎんなん基金寄附金を受け入れて、基金の造成に努めた。

- ・寄附状況 168件（企業、団体、個人等） 38,292,976円
(前年比 -16件、+33,460,193円)

⑤善意銀行事業の促進

ア. 金銭・物品の預託・払い出しの実施

項目	金額	前年比	備考
前年度繰越金	4,317,668円	+211,275円	
預託金受入	120,000円	+110,000円	
使用済み切手換金	0円	-78,707円	
プルタブ換金	17,860円	-10,112円	
未使用・書き損じハガキ換金	7,650円	-189,641円	
入れ歯リサイクル換金	0円	-37,305円	
預託合計	4,463,178円	+5,510円	

預託金払出	10,000円	±0円 (±0件)	預託者の指定 (1件)
	90,000円	-40,000円 (-4件)	火災見舞金 (9件)
払出合計	100,000円	-40,000円	

次年度繰越金	4,363,178円		+45,510円
--------	------------	--	----------

○預託・収集物品

- ・預託品 38件（電動ベット、車いす、タオル等） (前年比 -23件)
- ・収集物品 1,023件（使用済み切手・テレカード、プルタブ、エコキャップ等）
(前年比 -58件)
- ・払い出し 49件（電動ベット、車いす、タオル等） (前年比 -1件)

⑥敬老会開催の支援

宇都宮市、市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会の共催により開催した敬老会の開催費用の一部を助成した。

- ・39地区社協（全地区）へ助成 (助成総額 4,490,040円)

4. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

①老人福祉センターの管理・経営（5施設）

ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘

（指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）

上河内老人福祉センター（指定管理期間 平成23年4月1日～平成26年3月31日）

（総運営費 204,338,386円）

ア. ことぶき会館

○利用状況

- ・開館日数 293日 （前年比 -1日）
- ・利用者数 延 102,691人 1日平均 350人 （前年比 +15,498人）

（延人数）

区 分		内 訳
送迎バス利用者		7,337人
教養講座		12講座 291回 9,755人
健康相談等	血圧測定	3,293人
	健康相談	3,311人
	応急処置	14人
	健康器具利用	31,532人

○年間行事等

- ・ことぶき文化祭の開催 平成25年10月19日（土）～20日（日）
- ・ことぶき健康みんなの大学（健康講話・健康チェック・つば体操教室・栄養講座・栄養相談・骨密度測定等）の開催 64回
- ・ボランティア団体等の受入（民謡発表会・マジックショー等）
- ・栃木SC健康教室の開催

イ. ふれあい荘

○利用状況

- ・開館日数 295日 （前年比 +2日）
- ・利用者数 延 45,310人 1日平均153人 （前年比 -956人）

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		659人
教養講座		14講座 304回 4,096人
健康相談等	血圧測定	3,917人
	健康相談	406人
	応急処置	12人
	健康器具利用	16,060人

○年間行事等

- ・ふれあい音楽祭の開催 3回
- ・健康講話講座の開催 1回
- ・囲碁将棋自主講座交流大会の開催 1回
- ・ボランティア団体等の受入（映画鑑賞会）
- ・栃木SC健康教室の開催 2回
- ・吟詠・剣詩舞講座発表会の開催 1回
- ・手芸講座作品展の開催 1回

ウ. やすらぎ荘

○利用状況

- ・開館日数 294日 (前年比 ±0日)
- ・利用者数 延 43,626人 1日平均148人 (前年比 +1,577人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		4,780人
教養講座		15講座 332回 6,401人
健康相談等	血圧測定	2,782人
	健康相談	1,002人
	応急処置	13人
	健康器具利用	16,812人

○年間行事等

- ・やすらぎ祭の開催 平成25年10月27日(日)～28日(月)
- ・健康講話の開催 4回
- ・敬老の日 地域中学校演奏会及び交流会の開催
- ・地域小学校との交流会の開催
- ・交通安全講話の開催 (管轄警察署協力)
- ・ボランティア団体等の受入(鍼灸体験・民話発表・映画鑑賞会・バンド演奏会等)
- ・栃木SC健康教室の開催 2回

エ. すこやか荘

○利用状況

- ・開館日数 295日 (前年比 +2日)
- ・利用者数 延 61,024人 一日平均207人 (前年比 -892人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		6,558人
教養講座		16講座 333回 8,983人
健康相談等	血圧測定	723人
	健康相談	687人
	応急処置	45人
	健康器具利用	25,689人

○年間行事等

- ・すこやか荘文化祭の開催 平成25年11月8日(金)～9日(土)
- ・交通安全啓発運動の開催(管轄警察署協力)
- ・地域児童との世代間交流事業の開催
- ・ボランティア団体等の受入(軽音楽演奏会・民話発表)
- ・栃木SC健康教室の開催 2回

オ. 上河内老人福祉センター

○利用状況

- ・開館日数 246日 (前年比 -1日)
- ・利用者数 延 4,666人 一日平均19人 (前年比 +529人)

(延人数)

区 分		内 訳
教養講座		4講座 79回 704人
健康相談等	血圧測定	333人
	健康相談	333人
	応急処置	0人
	健康器具利用	159人

○年間行事等

- ・上河内老人福祉センター祭の開催 平成25年10月5日(土)
- ・健康体操の開催 20回
- ・デジタルカメラ入門講座の開催 3回
- ・グラフトバンド教室の開催 3回
- ・身だしなみアップ講座の開催 1回
- ・栃木SC健康教室の開催 2回
- ・地域で実施する「ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会事業」への支援 6回

②地域活動支援センターの管理・経営(3施設)

雀の宮作業所・若草作業所 (指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日)
(総運営費 43,359,000円)

ア. 雀の宮作業所

○利用状況

- ・開所日数 244日 (前年比 -1日)
- ・利用登録者数 17人 (前年比 ±0人)
- ・利用者数 延 2,792人 (前年比 -318人)

イ. 若草作業所

○利用状況

- ・開所日数 244日 (前年比 -1日)
- ・利用登録者数 16人 (前年比 ±0人)
- ・利用者数 延 2,718人 (前年比 +206人)

○生産活動の機会の提供

- ・電機部品の組立・菓子箱の組立・文書の封筒詰め及びシール貼り・各種製品箱詰め及び袋詰め・ダンボール製品組立て等

○社会参加・自立促進

- ・野外レクリエーション・社会見学・クリスマス会等の開催
- ・宇都宮市民福祉の祭典・うつのみやふれあい文化祭・栃木県障がい者スポーツ大会等への参加

ウ. 障がい者福祉センター（指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）

（総運営費 35,936,000円）

【講座事業】

○利用状況

- ・利用登録者数 延 128人 (前年比 +5人)

(延人数)	
区 分	内 訳
講座事業	15講座 361回 3,202人

○年間行事等

- ・地域活動支援センターとの交流会の開催 2回
- ・宇都宮ふれあい文化祭・宇都宮市民福祉の祭典・カルフルとちぎへの参加
- ・作品展の開催（市民プラザ・中央生涯学習センター）
- ・出前講座（パンフラワー短期講座）の開催 2回

【地域活動支援センター事業】

○利用状況

- ・利用登録者数 11人 (前年比 +1人)

○年間行事等

- ・野外療育訓練の開催 1回
- ・講座事業との交流会の開催 2回
- ・宇都宮市民福祉の祭典への参加
- ・音楽療法・買い物訓練・レクリエーション等の実施

【医療生活相談】

○相談状況

- ・開催回数 5回 (前年比 ±0回)
- ・利用者数 6人 (前年比 -2人)

③総合福祉センターの管理・経営（2施設）

宇都宮市総合福祉センター（指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）

河内総合福祉センター（指定管理期間 平成23年4月1日～平成26年3月31日）

ア. 宇都宮市総合福祉センター

(総運営費 72,623,139円)

○利用状況

- ・開館日数 337日 (前年比 -1日)

(延人数)

区 分	内 訳	
会議室等利用者	71,648人	(前年比 -11,656人)
	4,363団体	(前年比 -316団体)
電子健康機器利用者	5,902人	(前年比 -1,752人)

イ. 河内総合福祉センター

(総運営費 47,235,364円)

○利用状況

- ・開館日数 297日 (前年比 +1日)

(延人数)

区 分	内 訳	
会議室等利用者	12,269人	(前年比 +1,894人)
	517団体	(前年比 +9団体)
大広間等利用者	27,246人	(前年比 -995人)
浴室利用者	60歳以上	18,098人
	60歳未満	284人
	障がい者	1,052人
	子ども	41人
電子健康機器利用者	8,970人	(前年比 -1,085人)
送迎バス利用者	2,292人	(前年比 -486人)

※1 会議室等利用状況は、団体室・ボランティア室・朗読室含

④茂原健康交流センターの管理・経営

(指定管理期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(総運営費 114,527,084 円)

○利用状況

- ・開館日数 279日 (前年比 -4日)
- ・利用者数 延 165,864人 一日平均594人 (前年比 +4,029人)

(延人数)

区 分		内 訳
有 料	一般	33,936人
	高齢者	77,836人
	子ども	6,815人
減 免	障がい者	26,326人
	介護者	11,551人
無 料	3歳未満	402人
	中学生以下	7,622人

※1 毎週土曜日は中学生以下無料

※2 上記人数には、オープン記念日、敬老の日、こどもの日の無料開放の人数は含まず。

○年間行事等

- ・高齢者健康づくり講座の開催
(水中運動教室 24回 477人参加 ・ 体操教室 24回 438人参加)
- ・高齢者等生きがいがづくり事業の開催 (サークル発表場の提供 4回 70人参加)
- ・健康づくり教室の開催 (体操教室 24回 379人参加)
- ・母の日「似顔絵展」 参加者 30人
- ・父の日「似顔絵展」 参加者 40人
- ・感謝イベント等の開催

イベント名	期 日	内 容	人数
こどもの日無料開放	平成 25 年 5 月 5 日 (日)	中学生以下無料	163人
200万人達成メモリー	平成 25 年 5 月 19 日 (日)	達成者親子へ記念品贈呈	
オープン記念日祭無料開放	平成 25 年 8 月 11 日 (日)	全員無料	1,145人
敬老の日無料開放	平成 25 年 9 月 16 日 (月)	75歳以上無料	68人
グラウンド・ゴルフ	平成 25 年 12 月 7 日 (土)	健康増進及び地域交流	72人
カラオケ大会	平成 25 年 12 月 8 日 (日)	地域交流	40人
クリスマスイベント	平成 25 年 12 月 25 日 (水)	抽選くじによるお菓子プレゼント	80人

(2) 市からの受託事業の実施

①障がい者生活支援センター事業の実施

宇都宮市障がい者生活支援センター（総合福祉センター）（平成14年10月1日受託）

（総事業費 12,600,000円）

- ・相談支援を利用している障がい者（児）の数 延 1,175人（前年比 -258人）
- ・相談件数 延 3,328件（前年比 +182件）
- ・個別支援会議 39回開催（前年比 -5回）

②地域包括支援センター事業の実施

ア. 地域包括支援センター御本丸（平成18年4月1日受託）

（総事業費 31,335,210円）

○担当地区 中央地区・築瀬地区・城東地区

○総合相談支援事業

- ・相談者数 延 329人（前年比 -198人）

○地域会議の開催

- ・中央地区 3回
- ・築瀬地区 2回
- ・城東地区 2回

○げんき応援高齢者支援業務

- ・介護保険認定申請非該当者へのケアマネジメント 延 15件（前年比-36人）

○介護予防支援事業

- ・介護予防サービス、支援プラン作成 延 1,509件（前年比+178人）
（うち、居宅介護支援事業所委託 997件）

○介護予防教室の開催

- ・中央地区 12回
- ・築瀬地区 12回
- ・城東地区 12回

○家族介護教室の開催

- ・介護知識、技術習得のための講話及び講習等の開催 延 4回

○ひとり暮らし安心ネットワーク事業

地 区	見守り活動会議	安否確認状況
中央地区	2回	28回
築瀬地区	0回	40回
城東地区	14回	23回

○地域介護予防活動支援事業

- ・介護予防教室等の修了者に対する自主グループ支援 3団体 延 6回

イ. 上河内地域包括支援センター(平成19年4月1日受託)

(総事業費 22,669,427円)

○担当地区 上河内地区

○総合相談支援事業

- ・相談者数 延 352人 (前年比 +81人)

○地域会議の開催

- ・上河内地区 2回

○げんき応援高齢者支援業務

- ・介護保険認定申請非該当者へのケアマネジメント 延 71件 (前年比-26人)

○介護予防支援事業

- ・介護予防サービス、支援プラン作成 延 659件 (前年比+33人)
(うち、居宅介護支援事業所委託 334件)

○介護予防教室の開催

- ・上河内地区 36回

○家族介護教室の開催

- ・介護知識、技術習得のための講話及び講習等の開催 延 2回

○ひとり暮らし安心ネットワーク事業

- ・見守り活動会議 延 8回

○地域介護予防活動支援事業

- ・介護予防教室等の修了者に対する自主グループ支援 2団体 延 4回

○その他の事業

- ・認知症サポーター養成講座の開催 3回 延 35人 (前年比 +8人)

③日中一時支援事業の実施

- ・あっとほ一む・うだい (放課後支援型 平成19年7月12日受託)
- ・あっとほ一む・すずめ (放課後支援型 平成16年4月1日受託)
- ・あっとほ一む・かわち (放課後支援型 平成22年4月1日受託)
- ・河内地域活動支援事業所(日中支援型 平成19年5月24日受託)

(総事業費 20,100,446 円)

○施設別内容

施設名	区 分	開所日数	登録者数	利用者延人数
あっとほーむ・うだい	放課後支援型	239 日	20 人	1,994 人
あっとほーむ・すずめ	放課後支援型	244 日	14 人	1,364 人
あっとほーむ・かわち	放課後支援型	244 日	15 人	1,615 人
河内地域活動支援事業所	日中支援型	244 日	15 人	887 人
	合計		64 人	5,860 人

(前年比 +259 人)

④身体障がい者福祉バス事業の実施 (昭和 54 年 5 月 1 日受託)

障がい者の社会参加を促進するため、福祉バスの運行を行った。

(総事業費 8,804,734 円)

○利用状況

- ・稼働日数 161 日 (前年比 -25 日)
- ・利用団体数 延 161 団体 (前年比 -25 団体)
- ・利用人数 延 3,728 人 (前年比 -499 人)

⑤各種奉仕員養成講座の実施

(総事業費 958,388 円)

種 別		内 容	開催日	開催回数	受講人数(延)	前年比
手話奉仕員養成講座	入 門	手話の基礎知識と実技	平成 25 年 5 月～9 月の毎水曜日	全 18 回	329 人	+18 人
	基 礎	手話の応用知識と実技	平成 25 年 9 月～平成 26 年 3 月の毎水曜日	全 23 回	347 人	+52 人
点訳奉仕員養成講座	入 門	点訳の基礎知識と実技	平成 25 年 5 月～10 月の毎月曜日	全 20 回	203 人	-147 人
	中 級	点訳の応用知識と実技	平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月の毎月曜日	全 20 回	197 人	-110 人
音訳奉仕員養成講座	初 級	音訳の基礎知識と実技	平成 25 年 5 月～8 月の毎水曜日	全 15 回	212 人	-21 人
	中 級	音訳の応用知識と実技	平成 25 年 9 月～平成 26 年 2 月の毎水曜日	全 20 回	254 人	-57 人

⑥要約筆記者派遣事業の実施

聴覚障がい者等を対象に、日常生活を営むうえでコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣することにより社会参加を円滑にし、障がい者福祉の増進を図った。

- ・派遣依頼数 63件 (前年比 +3件)
- ・活動筆記者数 79人 (前年比 ±0人)

⑦援護事業の実施

所持金紛失等により、目的地まで行くことのできない行旅人に対して、旅費(500円限度)を貸付した。

- ・行旅人 155人 77,500円 (前年比 -57人)

(3) 県社協からの受託事業の実施

①権利擁護センター「あすてらす」事業の実施 (平成11年10月1日受託)

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力が十分でない方々に対し、安心して地域等で暮らせるよう相談に応じるとともに、福祉サービスの利用援助や金銭管理等のサービスを提供した。

(総事業費 9,220,100円)

- ・担当地区 宇都宮市・上三川町
- ・契約者数 117人 (新規契約者:24名) (前年比 +3人)
- ・一般相談 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後4時
- ・相談件数 延 2,189件
- ・相談者内訳

区 分	相 談 件 数	前年比
認知症高齢者	1,152件	+40件
知的障がい者	298件	-36件
精神障がい者	595件	+243件
身体障がい者	138件	+22件
その他	6件	+1件
合 計	2,189件	+270件

②地域権利擁護システム整備モデル事業の実施

認知症や知的障がいなどの理由により、判断能力が不十分な方々の権利を尊重するため、成年後見制度を活用した権利擁護システムの整備を図るためのモデル事業を行った。

- ・法人後見運営委員会 3回
- ・法人後見受任 5件 (後見類型4件、補助類型1件)

③成年後見制度利用促進事業（析の実基金補助事業）の実施

○法人後見先進地視察の実施

地域権利擁護システム整備モデル事業運営の今後の参考とするため、福祉後見センターを立ち上げ、日常生活自立支援事業と成年後見制度を包括とした権利擁護システムを構築している法人後見先進地社協の視察を実施した。

- ・実施日 平成26年3月5日（水）
- ・視察先 成年後見センターこしがや（埼玉県越谷市社協）

○成年後見制度理解啓発講座の実施

成年後見制度の理解、適切な制度活用および申立支援ならびに普及促進を図ることを目的として実施した。

- ・実施日 平成25年12月5日（木）、12日（木）、26（木）
- ・講師 大門社会福祉士事務所 所長 大門亘 氏
リーガルサポートとちぎ 支部長 佐伯祐子 氏
ほっとからすやまケアサポートセンター 所長 佐藤智子 氏
- ・対象者 地域包括支援センター職員
介護支援専門員
相談支援機関職員
- ・参加人数 26名

④生活福祉資金等貸付事業の実施

低所得者世帯などに対して、低利または無利子での資金の申請と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立や生活意欲の向上及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援した。

資 金 種 別		申請件数
生活福祉資金	総合支援資金	39件
	福祉資金（福祉費）	21件
	福祉資金（緊急小口資金）	19件
	教育支援資金	12件
	不動産担保型生活資金	0件
	生活復興支援資金	0件
臨時特例つなぎ資金		15件
合 計		106件

（前年比 -71件）

- ・相談件数 延 2,095件

（前年比-705件）